

平成 2 2 年 1 1 月 2 9 日

頭脳循環を活性化する若手研究者海外派遣プログラムの採択について

独立行政法人 日本学術振興会の新規事業「頭脳循環を活性化する若手研究者海外派遣プログラム」に、広島大学から提案の下記の 1 件が採択されました。

本事業は、「最先端研究開発戦略的強化補助金」に基づく支援で、学術の振興の観点からさまざまな研究を幅広く対象としています。

「頭脳循環を活性化する若手研究者海外派遣プログラム」は、若手研究者が世界水準の研究に触れ、世界のさまざまな課題に挑戦する機会を拡大するとともに、海外の大学等研究機関との研究ネットワークを強化するため、国際共同研究に携わる若手研究者の海外派遣を支援し、国際的な頭脳循環の活性化を通じたわが国の学術の振興を図ることを目的としています。

記

【事業名】

知識社会を先導する大学知の考究
－新時代の高等教育の展開と人材育成－

【概要】

高等教育研究における世界の主要研究拠点との協力の中で高等教育の主要課題について考究し、日本の高等教育の将来像の追求に資する国際共同研究を展開する。

高等教育の課題が世界共通の側面を帯びつつあることを踏まえ、国の枠を超えた研究者ネットワークを構築し、研究の国際性を向上させ、高等教育の将来を担う若手研究者を育成する。

実施予定期間 平成 2 2 年度～平成 2 4 年度（3 年間）

連携先研究機関

メルボルン大学高等教育研究センター（オーストラリア）

カッセル大学高等教育研究国際センター（ドイツ）

オスロ大学教育研究所（ノルウェー）

カリフォルニア大学バークレー校高等教育研究センター（アメリカ合衆国）

ジョージワシントン大学教育学研究科（アメリカ合衆国）

ペンシルバニア州立大学高等教育研究センター（アメリカ合衆国）

【問い合わせ先】

国際センター

国際交流グループリーダー 宮脇克也

TEL: 082-424-6041 FAX: 082-424-6179